



第718号
平成27年6月29日

陸上自衛隊
北部方面隊広報紙
発行：北部方面隊総監部広報室

総監要望事項
応 磨 頼
即 錬 信

北部方面隊
ホームページ
<http://www.mod.go.jp/gsd/nae/index.html>

陸上幕僚長 北部方面隊部隊視察

自衛隊札幌病院 名寄駐屯地の現況を確認

方面隊は、6月11日、12日の両日、陸上幕僚長岩田陸将による自衛隊札幌病院及び名寄駐屯地の視察を受けた。

陸上幕僚長は、自衛隊札幌病院の視察において、26年度末に真駒内駐屯地に移転を完了した新病院の病棟、救急外来施設、検査室等に加え、大規模災害時にエアードーム等により被災者等を大量に受け入れ、医療器具を使用するための電源を確保することのできる病院駐車場地域の視察し、大規模災害時の医療拠点としての機能を保持していることを確認した。また、同地域に隣接する看護学院の視察では、生

活施設と看護学生が行う教育実習状況を確認した。陸上幕僚長は、北部方面隊視察時に病院の移転業務を停止することなく、業務を完了させようとする旨を述べた。また、同地域に隣接する看護学院の視察では、生

葉をかけた。名寄駐屯地の生活隊舎の視察では、陸上幕僚長は居室に整列する隊員と握手をし激励することにも取り組んだ。陸上幕僚長は「自分自身の目標は何か」「営内生活は快適か」と語りかけた。これに対し、隊員は緊張しながらもそれぞれの目標や営内生活の感想を元気づけ



記念撮影（自衛隊札幌病院）



儀じょう（名寄駐屯地）



営内隊舎を視察し隊員を激励する岩田陸上幕僚長（名寄駐屯地）



新病院の病床拡張機能を確認する岩田陸上幕僚長

答えていた。一連の視察を終えた陸上幕僚長は、日本国内で最北に位置し、厳しい自然環境下にある名寄駐屯地に勤務する隊員を労い、引き続き任務完了のために努力することを要望し、駐屯地を後にした。

総監初度視察 第5旅団、第1特科団、北部方面施設隊

現況を確認し、企図の徹底を図る

北部方面隊総監部陸将は、5月28日に帯広駐屯地、6月17日に北千歳駐屯地及び南恵庭駐屯地に対する初度視察を行った。

今回の初度視察は、速やかに第5旅団及び直轄部隊の現況を把握するとともに、企図の徹底を図り、実効性ある指揮統率を行う上で重要な機会となった。

5月28日、帯広駐屯地では、第5旅団、帯広地方協力本部及び駐屯地業務隊を対象に、ロシアと国境を接する道東地区の

防衛・警備、災害派遣等を担う第5旅団を核とした同駐屯地の現況を確認した。全隊員に対する訓示では、昨今の国内外情勢、防衛省・自衛隊に対する国民の期待を踏まえ、北部方面隊のなすべきことを述べ、要望事項である「即応」「錬磨」「信頼」を徹底するとともに、北部方面隊区において、蓋然性の高い日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に対する対処計画の実効性向上と万全の備えを強調した。

同日午後からの南恵庭駐屯地の視察においては、北部方面施設隊、駐屯地業務隊を対象に、方面隊直轄部隊であり、方面施設科部隊の骨幹である施設隊を主体に隊務を遂行する同駐屯地の現況を確認した。隊内巡視活動の指定準備及び待機間の訓練に使用するため陸上自衛隊で他方面隊に先駆けて装備された「国際活動用兵站支援橋」の設置状況を確認し、師団・旅団の施設科部隊を含め、方面施設科部隊に対する「国際活動用兵站支援橋」の教育をしっかりと行うよう指導した。



荣誉礼（第1特科団：北千歳駐屯地）



国際活動用兵站支援橋設置状況を視察（北部方面施設隊：南恵庭駐屯地）

方面施設隊に対する訓示においては、国際平和協力活動等において国内外から高い評価を得ている施設技術力の練度向上と発揮及び将来的な体制移行への諸準備の推進を要望した。

第2師団、第7師団において本格的訓練を開始！ 近接戦闘訓練 (i-TESC、AC-TESC)



息をひそめて敵を警戒する隊員 (i-TESC)



敵方を警戒しつつ、離脱中の90戦車 (AC-TESC)



敵方を警戒し進軍する普通科中隊 (i-TESC)

方面隊は、第2師団長を担任官として、6月1日から26日までの間、上富良野演習場において、近接戦闘訓練(i-TESC)を、第7師団長を担任官として、6月7日から21日までの間、北海道大演習場において、近接戦闘訓練(AC-TESC)をそれぞれ行った。

訓練とは、訓練センターを臨時に設置して、普通科部隊、戦車部隊等の近接戦闘訓練をレーザー交戦装置等により、戦闘結果を審判するとともにその結果をデータとして、評価分析する等、実戦環境に近似して行う訓練である。

第2師団が担任したi-TESCは、戦車、特科、施設科等を増強して編成された増強普通科中隊による陣地攻撃部隊と陣地防御部隊により戦う對抗方式により行い、第2師団隷下の全普通科連隊が参加した。敵情を解明しつつ優れた戦力をもって攻撃する側と堅固な地形を活用して構成した陣地と火力と障害で攻撃を破砕しようとする防御側との真剣勝負の中で各級指揮官の指揮、諸職種協同連携、近接戦闘能力等を向上させた。

第7師団が担任したAC-TESCは、機甲師団としての特性を生かし、戦車中隊または機械化中隊を主体として編成した増強中隊が彼我が共に攻撃する遭遇戦等の對抗方式により行い、第7師団の全戦車連隊、第11普通科連隊に加え、第2師団の第2戦車連隊と第5旅団の第5戦車大隊が参加し、戦車部隊等特有の機動力を最大限に発揮した流動的な戦闘を通じて、各級指揮官の指揮、諸職種協同連携、近接戦闘能力等を向上させた。



複数的に射撃する隊員 (小銃の部)

第11旅団は、6月10日から15日までの間、北海道大演習場(有明戦闘射場、第1戦車射場)において、平成27年度第1回旅団射撃競技会を行った。

本競技会は、「実戦的な各種状況下における射撃により隊員の射撃精度を向上させる」ことを目的とし、「小銃の部」と「対人狙撃銃の部」に区分して行われ、旅団隷下各部隊から不作為に選出した隊員により部隊對抗形式で射撃技術を競った。



標的を見直し照準を定め射撃をする隊員 (対人狙撃銃の部)

実戦的な状況下で 射撃練度を向上 平成27年度第1回旅団射撃競技会

「対人狙撃銃の部」は、連隊から選ばれた1個組2名からなる計12個組が長時間潜伏する間に、不規則に現出する標的を発見・識別し、射距離判定、風向の修正を行い、射手と観測手が連携しつつ、射撃を行う要領で行った。更に、目標の重要度、射距離に応じた得点による採点方式とするともに、友軍的を現出させ、射手等の状況判断を演練した。

同旅団は、今年度第2回射撃競技会を計画しており、第1回より難易度を増した射撃要領による競技により、実戦的な状況下での射撃の感覚と射撃技術の更なる向上を追求する。

方面隊では、5月末から各駐屯地において創立記念行事が行われた。

5月31日の第7師団創立60周年記念・東千歳創立記念行事を皮切りに6月6日に第11旅団創立7周年・真駒内駐屯地開庁61周年記念行事、6月7日に第2師団創立65周年・旭川駐屯地開庁63周年記念行事などが全道の様々な駐屯地で行われ、多くの来場者で賑わった。

威風堂々たる勇姿を披露 方面隊各駐屯地において創立記念行事



ヘリコプターによる編隊飛行 (丘珠駐屯地)



偵察部隊のオートバイによる行進 (名寄駐屯地)



普通科部隊による威風堂々の行進 (旭川駐屯地)



整列する観閲部隊 (美瑛駐屯地)



第25普通科連隊徒歩部隊の行進 (遠軽駐屯地)



戦車部隊による迫力ある行進 (東千歳駐屯地)



第5戦車大隊による戦車行進 (鹿追駐屯地)



WAPCによる第26普通科連隊の行進 (留萌駐屯地)



女性隊員による国家独唱 (真駒内駐屯地)

北の駐屯地 その歩み

第18回 北恵庭駐屯地

北恵庭駐屯地が所在する恵庭市は、札幌市と北海道の空の玄関である千歳空港の間に位置し、恵まれた交通アクセスと穏やかな気候風土を持つ街です。人口は約6万9千人を占めています。



現在の北恵庭駐屯地

現在、駐屯地には第7師団隷下の第72戦車連隊、第7後方支援連隊第2整備大隊第2戦車直接支援中隊及び第11旅団隷下の第11戦車大隊、第11後方支援隊第2整備中隊、戦車直接支援小隊並びに駐屯地業務隊等が所在しています。

駐屯地は、終戦とともに解散となった北部軍管区教育隊(旧陸軍)の跡地に、昭和25年9月10日、警察予備隊恵庭訓練所として北海道初の駐屯地(当時はCAMF)が開設され、その歴史を歩み始めました。

昭和29年の自衛隊創設に伴い、南恵庭駐屯地より第1戦車群の前身である第101特車大隊が移駐するとともに、第72戦車連隊の前身である第103特車大隊が新編されました。

以後、昭和31年の第1特車群創設、昭和37年の特車から戦車への改称を経て、昭和49年の改編により第1戦車団が編成されましたが、昭和56年の第7機甲師団への改編に伴い、同団は廃止となり、その隷下の第1戦車群が方面総監直轄部隊としての任を引き継ぎ、第2戦車群及び第3戦車群は第72戦車連隊及び第73戦車連隊(平成2年南恵庭へ移駐)となりました。

平成26年3月末体制移行により62年の歴史に幕を閉じた第1戦車群に変わり、第72戦車連隊が駐屯地司令職務を担い、併せて真駒内駐屯地より第11戦車大隊及び戦車直接支援小隊が移駐し、新たな体制での歩み始めたばかりです。

その歴史は全国規模の機甲科隊員から戦車の「メッサー」あるいは「根城」と呼ばれ、一度は勤務してみたいと願う戦車マンも少なくないと言われます。故に平成26年度の方面隊戦車射撃競技会(日26年10月16日・10月22日)の連・大隊対抗の部において、「優勝」第72戦車連隊、「第2位」第11戦車大隊」という結果は、部隊のみならず駐屯地としても全国に誇れる成果でした。

駐屯地所在部隊の主要な活動としては、平成16年第2次イラク復興支援群等の国際平和協力活動への派遣のほか、昭和56年の「56水害」、平成12年の「有珠山噴火」、平成20年の「千歳市雪害」、平成23年の「東日本大震災」等の各種自然災害等の対処のため多くの隊員を派遣してまい

に、各自自治体の防災会議・防災訓練において細部の確認・調整により、更に実効的な連携強化を図っています。

今後も、駐屯地司令要望事項である「地域から信頼される駐屯地」の具現を図るため、良好な自治体・協力団体等との関係を維持・向上させ、更に地域の向上に協力し、協力を獲得できるように努力するとともに、北恵庭駐屯地として、北恵庭駐屯地の主要な活動として、平成16年第2次イラク復興支援群等の国際平和協力活動への派遣のほか、昭和56年の「56水害」、平成12年の「有珠山噴火」、平成20年の「千歳市雪害」、平成23年の「東日本大震災」等の各種自然災害等の対処のため多くの隊員を派遣してまい

現在の北恵庭駐屯地

地域との連携については、平成25年6月に恵庭市との大規模災害時等における派遣従事隊員の留守家族支援に関する協定を島松駐屯地及び南恵庭駐屯地とともに締結し、隊員が安心して派遣任務を遂行できる環境を整えました。また、第72戦車連隊は、警備隊区である3市4町と災害時の連携に係る協定を平成25年12月に締結するとともに

人生に潤いを与える言葉

いま、『菜根譚』を繙(ひもと)くとき、そこには人の一生について深く思いを抱かざるにはられないのです。

試みに未だ生まれざる前に、
何の象貌あるかを思い、
また既に死するの後に、
何の景色を作すかを思えば、

(『菜根譚』後集・98)

即ち「試に、まだ生まれる前にどのような姿形(すがたかたち)であったかと思ひ廻らし、また死後にはどのような有様(ありさま)をしているかを想像してみれば」あらゆる妄念(もうねん)・雑念(ざつねん)は、火の消えた灰のように冷えてしまう、と言うのです。

確かに、36億年前の生命の誕生から不思議な授かりもの(預かりもの)の生命(いのち)は、再び宇宙に返さなければならぬのです。

ドイツの哲学者・カント(Immanuel Kant: 1724-1804)は、「人間は強い生命を与えられた後、自らを構成する物質を星に返さなければならない」という。思うに「霊はこれを授けた神に帰る」ということではないでしょうか。

心の健康相談 メンタルヘルス・カウンセラー
根本和雄

明治2年(1869年)5月7日、箱館への攻撃は、海上から始まりました。箱館政府軍の艦艇は、回天と蟠龍の2隻のみであり、しかも満足に航行できるのは、回天ただ一隻でした。明治政府軍艦隊は、甲鉄を先頭に春日、朝陽、丁卯、陽春の5隻が函館湾に侵入、弁天台場の掩護下で奮戦する回天に砲撃を集中します。開戦から数時間後、回天は機関部に命中弾を受け航行不能となり弁天台場近傍の浅洲に乗り上げ砲戦を継続します。明治政府艦隊は、小銃で応戦できるほど接近して回天にとどめを刺そうと砲撃を加えますが遂に夕暮れとともに退去します。

一方、陸上では、8日七重村で総攻撃の準備を

北海道前史 まぼろしの蝦夷共和国 第9回 「終戦」

10日、明治政府軍は、別動隊を箱館山の裏手の寒川海岸に上陸させ弁天台場を陸上から攻撃する態勢を整えました。

11日、遂に明治政府軍の総攻撃が開始されます。海上では、明治政府軍艦隊が、弁天台場へ攻撃と陸上部隊への火力支援

のため箱館湾に再度侵入して、箱館政府軍が夜襲を仕掛けました。攻撃には、総裁の榎本、陸軍奉行の大島が参加し、出撃可能な最大兵力での乾坤一擲の攻撃でしたが、兵力に劣る明治政府軍に圧倒され撃退されてしまいました。

明治政府軍は、甲鉄と春日を投入し、遂に蟠龍も砲撃が尽き、弁天台場近傍の浅洲に乗り上げ、乗員は、艦を捨てて弁天台場守備隊に合流しました。陸上では、昨日、寒川海岸に上陸した明治政府軍別動隊が、箱館山上から市街地に向け攻撃を開始し

ます。箱館山守備隊は、山上からの攻撃に崩壊してしまします。別動隊は、市街へ突入し、弁天台場を包囲して一本木開門まで制圧しました。

一方、主力軍は、海上からの支援下に五稜郭手前の亀田まで進出します。また内陸では、四稜郭も神山でも組織的な抵抗をすることができずその日の内に包囲され、残された箱館政府軍の将兵は、五稜郭、千代ヶ付陣屋と弁天台場に立て籠もりました。

この戦いの最中、陸軍奉行並、新撰組の土方歳三が五稜郭から弁天台場に向けて進軍中に一本木開門において戦死となり腹部に銃弾を受け戦死しました。鳥羽伏見から戦い続けてきた彼の死は、まさに、この戦いの終わりを告げるものでした。

12日、明治政府軍は、一気に強攻することなく艦砲により、五稜郭を砲撃します。終戦に向けた交渉が進められます。そして、15日千代ヶ付陣屋が強襲により陥落、弁天台場も同日降伏しました。

遂に、5月17日、五稜郭は開城し、箱館政府軍は降伏、幻の蝦夷共和国は上陸から僅か約7ヶ月で終焉を迎えました。

しかし、この戦いを指揮した両軍の将が、北海道開拓の夢を引き継ぎ、黒田が北海道開拓使次官(のち長官)、榎本も北海道開拓使で勤務し、屯田兵制度や西洋農法、石炭採掘等の事業を進め、北海道発展の礎を築くことになるのです。

平成27年度オピニオンリーダー活動

本研修では、総監部予備自衛官班による即応自衛官招集訓練を研修しました。

方面隊は、5月26日、方面隊オピニオンリーダー活動として、真駒内駐屯地において第52普通科連隊が担当する即応予備自衛官招集訓練を研修しました。



即応予備自衛官との記念撮影

制度の説明においては、制度導入の背景や一般企業に勤務しながら有事等の際に任務に就くための知識・技能を維持するため年間30日間の招集訓練に参加することなどの説明を受け、招集訓練の現地研修では小銃小隊の行動

第7師団創隊60周年及び東千歳駐屯地創立61周年記念行事研修



第7師団の観閲式を研修される方面隊オピニオンリーダーの方々

方面隊は、5月31日、方面隊オピニオンリーダー活動として、東千歳駐屯地において第7師団創立記念行事を研修しました。

本研修は、日本で唯一の機甲師団である第7師団の創立記念行事を通じて、方面隊の活動や師団の概要をご理解して頂くため例年行っています。観閲式においては、第7師団ならではの戦車等の観閲行進や訓練展示を研修し、第7師団の装備や役割等の概要を理解して頂きました。祝賀会食では、第7師団をはじめとする東千歳駐屯地に所在する部隊長等や参加された協力団体等の方々と懇談・記念写真の撮影等により一層の懇親を深められていました。

鹿追駐屯地記念日で地域住民とともに

帯広地本



広報ブースでアンケートを配布

自衛隊帯広地方協力本部は、5月31日、鹿追駐屯地で実施された「陸上自衛隊鹿追駐屯地創立58周年記念行事」の会場に「帯広地本広報ブース」を開設し、多くの来場者に対して一般広報を行いました。

この日は、駐屯地開放とともに多くの来場者が訪れ、帯広地本キャラクター「びっきー」「ろっきー」が元気いっぱいに歓迎しました。

帯広地本広報ブースでは、十勝地区隊の広報官が広報パンフレット、広報グッズ及び帯広地本オリジナルポケットティッシュ等の配布を実施し、幅広く陸・海・空自衛隊のPRを行いました。

自衛隊帯広地方協力本部は、これからも地域のイベントや駐屯地等で実施される行事に「びっきー」「ひまりん」「ろっきー」とともに積極的に参加し、地域の方々に自衛隊に対する親近感と理解をより一層深め、自衛隊帯広地本管内全体を盛り上げる役割を果たして行きたいと考えています。

「笑顔溢れる札幌地本広報ブース！」 記念行事で広報活動

札幌地本



子供達に大人気の「モコ」

自衛隊札幌地方協力本部は、6月6日、第11旅団創立7周年・真駒内駐屯地開庁61周年記念行事において、ふれあい広場内に広報ブースを開設して一般・募集・援護・予備自衛官の広報活動を行いました。

この日は肌寒い1日でしたが、約1万人の人が駐屯地を訪れ、札幌地本広報ブースにも約1,900人が来場する盛況ぶりでした。

当日は、海上自衛隊大湊地方総監部及び北海道防衛局の担当者も同じブースに入り相互に連携・協力しながら、パンフレット・チラシ等を配布して、防衛省・自衛隊について積極的に広報活動を行いました。

また、ミニ制服コーナーや、ビンゴ大会・ジャンケン大会等のイベントには多くの家族連れが集まり、笑顔と楽しい笑い声が溢れました。一方、札幌地本キャラクター羊の「モコ」が、丘珠駐屯地の「たまちゃん」、滝川駐屯地の「ジン少尉」とともに練り歩くと、多くの歓声を浴び、人だかりができる程の人気を博していました。

陸自ヘリコプター「UH-1J」で体験搭乗

函館地本



搭乗者に乗せ離陸するUH-1J

自衛隊函館地方協力本部は、5月30日、函館駐屯地ヘリポートにおいて、第11飛行隊に所属する「UH-1J」の支援を受け、募集適齢者及び援護等協力者を対象に体験搭乗を行いました。

体験搭乗の前に、第11飛行隊の隊員が待機場所の厚生センターにおいて搭乗に係わる安全教育を実施した後、記念撮影を行い7個グループの40人が駐屯地ヘリポートから函館市内～七飯町方面への飛行コースへ飛び立ちました。

搭乗を終えた高校生は、「自衛隊を受験するのでパイロットも目指したいな!」と興奮気味に話していました。

自衛隊函館地方協力本部は、今回の体験搭乗を皮切りに陸自・空自のヘリコプターによる体験搭乗を計画していますが、今後、市街地広報と併せて自衛隊全般及び募集・援護基盤の拡充に努めていきます。

留萌駐屯地創立記念行事で広報ブースを開設 自衛官募集をPR

旭川地本



留萌駐屯地に設置した広報ブースを訪れた学生

自衛隊旭川地方協力本部は、5月31日、留萌駐屯地の創立62周年記念行事で広報ブースを設置し、自衛官募集をPRしました。

雨の降る中、記念行事には約1500人が訪れ、記念式典、親閲行進、駐屯地音楽隊による記念演奏のほか、約50人の隊員が参加し、最新鋭の10式戦車、自走りゆう弾砲等を用いた迫力ある訓練を披露しました。

また、戦車や迫撃砲などの装備品展示、高機動車や装甲車の体験搭乗も行われ、開場から終了まで来場者に包まれ、賑わいを見せていました。

広報ブースでは、訪れた中高生や家族等に対し、陸上・海上・航空自衛官が、パネル展示等により自衛隊のPRを行い、充実感溢れる広報活動となりました。

自衛隊旭川地方協力本部は今後も青年等に対し部内外行事を活用した広報を積極的にを行い防衛基盤の拡充に努めていきます。

北部方面隊イベント情報

7月・8月

Table with 3 columns: 開催日 (Date), 行事名 (Event Name), 場所 (Location). Lists various commemorative events and festivals from July 18th to August 23rd.

※行事は都合により延期または中止される場合があります。

各地方協力本部募集等広報情報

7月・8月

札幌地方協力本部管内

Table with 3 columns: 開催日 (Date), 行事名 (Event Name), 場所 (Location). Lists recruitment events in Sapporo for July 21st and August 1st.

旭川地方協力本部管内

Table with 3 columns: 開催日 (Date), 行事名 (Event Name), 場所 (Location). Lists recruitment events in Asahikawa from July 19th to August 14th.

函館地方協力本部管内

Table with 3 columns: 開催日 (Date), 行事名 (Event Name), 場所 (Location). Lists recruitment events in Hakodate from July 18th to August 29th.

帯広地方協力本部管内

Table with 3 columns: 開催日 (Date), 行事名 (Event Name), 場所 (Location). Lists recruitment events in Oshima from July 18th to August 2nd.

※行事は都合により延期または中止される場合があります。

演奏会のお知らせ

Table with 3 columns: 開催日 (Date), 行事名 (Event Name), 場所 (Location). Lists music performances in Sorachi and Kamikari on July 23rd and August 6th.

編集後記

本州では梅雨入りの便りが届く6月になり、梅雨が無い言われていた北海道ですが、雨の日が続くことがあり、この状態を「蝦夷梅雨」というそうです。しかしながら、道内各地で多くのイベントが行われる時期でもあります。◆梅雨による長雨は、降雨の影響による災害発生の可能性のマイナスイメージが強く、誰しも憂鬱になるものです。しかし、必ずしも悪い影響ばかりではありません。我々の生活に欠かせない面もありません。水不足の回避です。この時期に、ある程度の降水量がなければダム等の水が枯渇し、夏頃には水不足になる可能性があります。生活用水のみならず農作物の収穫量等に影響を与えます。◆物事には、プラス面とマイナス面があるという事です。考え方もプラスと捉えるかマイナスと捉えるかによって結果に違いが出ます。一般的にプラス思考のほうが良いと言われますが、度が過ぎるとマイナス面が顕在化する恐れがあることから過度に偏らないバランスも大事です。◆訓練最盛期のこの時期、方面隊は、我が国を守るため、大規模災害等への対応のためあらゆる事象をバランスよく考察し、速やかに対処できること、訓練を積み重ねていませいざという時にプラス以上の実力を発揮するために。